

令和6年度学校評価（年度末評価）

本年度の 重点目標 (1) 道德教育の推進(人権の尊重) (2) 生徒の主体的かつ対話的な学習を推進(自ら考え、行動できる生徒の育成) (3) 保護者及び進路先等の関係者が桃花校舎に期待している生徒像を明確にした上で、必要な支援・指導の在り方の検証(学習面・生活面) (4) 防災教育の推進を図り、起こりうる大規模震災等の被災時の状況を具体的に想定し、その状況に対応するための具体的かつ実践的な取組の展開					
担当部	重点目標	具体的方策	留意事項	年度末評価	達成度
総務部	・教育活動に関する情報発信の定着・充実 (2)	・手順の整備と二次元コードを用いた発信を進める。 ・閲覧のしやすさを考慮してホームページを再編、運用する。	・新しい更新方法の定着を目指す。 ・昨年と同じ情報量の発信を目指す。 ・学校見学や学校説明会でホームページの利便性に関するアンケートを実施する。	・掲載時期が遅めになることはあったが、年間を通して多くの教育活動の様子を掲載することができた。新ホームページへの掲載手順を明確にし、次年度は安定した情報発信を目指す。 ・ホームページの構成等、おおむね良い意見をいただいているので、現行の構成で運用を行う。	80%
	・緊急連絡の確実な伝達 (4)	・月に1回、アプリ及びメールによるテスト配信を実施する。	・既読確認を行い、未読の場合は保護者に確認を促す。	・6月より月1回テストメールを配信したことで未開封が解消した。また、未登録者は登録を促したことで全世帯のメール登録を達成した。	100%
教務部	・対話的な学習、道德的視点に立った指導、支援の推進 (1)(2)	・道德の授業や自立活動を中心に、他者を意識した活動や意見交換を積極的に実施する。	・生徒同士が互いを尊重し合う場面や対話を深める機会をつくるようにする。	・年度初めに担当者間で授業の進め方に関する話し合いを行い、ペアワークやグループワークにおいて人権に視点を当てた意見交換を取り入れた。相手のことを考えて発言する生徒、または自分の発言が適切であったかを振り返る生徒など、学級内を中心に周囲を意識した発言や行動が以前よりも多く見られるようになってきている。	90%
	・職業教育の充実に向けた校内研究の推進 (3)	・職業の年間指導計画を全教職員で共有し、指導内容等の見直しや他教科との関連性の検討をする。 ・少人数でのグループワークを通して、教職員一人一人が課題意識をもって取り組めるようにする。	・研究日以外にも適宜話し合いの場を設け、意見交換をする。 ・教職員向けアンケートを実施して研究の達成度を検証する。	・指導事例書の作成を通して、職業の指導内容の共有や学習プリントの見直しを進めることができた。 ・研究後のアンケートにおいても教職員による話し合いの有効性を確認できたが、指導内容の精選や授業時間数の再考が課題としてあった。次年度も検討を継続する。	80%
生徒指導部	・生徒心得の見直し (2)	・生徒・保護者の要望を踏まえて内容を見直し、生徒が自己判断できる項目を増やして社会性を高められるようにする。	・生徒の自主性を大切にする視点と決まりを守る態度の育成の双方を考慮しながら検討を進める。 ・生徒会役員を中心に検討を進め、改定案を年度内に生徒や保護者に示す。	・生徒会が中心となり意見BOXの内容をまとめ、管理職と意見交換会を行った。 ・生徒会の意見と昨年度に保護者から集約した意見をもとに検討し、改定案をまとめた。生徒には2月の集会、保護者へは全体保護者会での伝達を予定している。	90%
	・非常時の対応訓練の充実 (4)	・避難経路の封鎖やけが人の発生などを想定した訓練を行う。 ・桃陵高校との合同研修「避難所開設」の内容を再考する。	・有事に対応できるような訓練を前年度と異なる内容で検討する。 ・避難所運営の初動に関して具体的なイメージをもてるように、市と研修内容を協議する。	・避難訓練については、桃陵高校との合同訓練の際にけが人の発生を想定した訓練を行い、避難場所や点呼の仕方などの確認をした。また、新たに避難経路の封鎖を想定した訓練やトランシーバーを用いた訓練を行った。 ・桃陵高校との合同研修については、大府市の災害対策の体制や避難所運営の際の学校関係者の役割についてなど、より実践的な内容に見直して実施した。	90%
進路指導部	・企業から求められる人材や就労上の課題に関する情報発信 (3)	・企業等から得られた事例や課題を基に校内で取り組むべき内容、方策をまとめて教職員へ周知する。 ・進路に関する保護者向けの情報提供を増やす。 ・教務部（研修部）と連携し、校内研究時に進路指導部としての意見を発表する。	・事例以外にも企業等から得た情報を回覧やデータ閲覧等で適宜伝達する。 ・進路だよりを年5回発行する。 ・研究の日程に合わせ、事前の校務部会等で社会自立を目指す生徒に必要な学習内容等をまとめる。	・職場開拓等を通して、企業の求める人物像を聞き取って紙面にまとめ、職員への周知を図った。次年度以降もデータを蓄積していく。 ・進路説明会の提示資料を見直し、各学年の状況に応じた情報の提供を進めた。また、保護者向けに進路に関する取組や学校に求める企業の考えなどをまとめ、2月中旬に進路だよりとして発行する。 ・卒業生への対応や企業訪問で得た情報などの具体的な事案は、普段の指導に生かせることが多いため、今後も情報発信していきたい。	80%